

藤山台中学校区小学校規模適正化に関する意見を聴く会 意見要旨

- 1 開催日時 平成 22 年 9 月 11 日（土）午前 9 時 30 分から午前 11 時 40 分まで
- 2 開催場所 東部市民センター 3 階 視聴覚室
- 3 出席者
 - (1) 住民等参加者 13 人
 - (2) 事務局
教育部長 梶田 博
学校教育課長 瀬瀬 伸二
学校教育課指導主事 伊藤 孝之
学校教育課長補佐 勝 伸博
学校教育課学事担当主査 林 康裕
- 4 内容
 - (1) 資料に基づき説明
 - (2) 意見交換
- 5 配布資料
 - (1) 藤山台中学校区小学校規模適正化に関する意見を聴く会
 - (2) 小中学校の適正規模等に関する基本方針
- 6 意見内容 出席者から出された意見の要旨については、次のとおり。
 - (1) 現状について
 - ア 現在、白山町には、3 中学校区、4 小学校区の通学区域がある
 - イ 白山町地内にある学校用地について、基本方針においては、学校の建設予定はない旨記載があるが、庄名の区画整理の動向も踏まえ、新校建設のことも含め検討することが必要ではないか。
 - (2) 学校の統合について
 - ア 統合にあたっては、市の教育理念を提示し保障していくことが望まれる。
 - イ 3 校を統合してもよいのではないか。
 - ウ 3 校を統合した場合、白山町の児童の通学距離が遠くなるのではないか。
 - エ 3 校を統合する場合には、新しい校舎の建設とともに、白山町の児童の校区変更も検討すべきではないか。
 - オ 藤山台中学校と岩成台中学校のことも含めて学校規模の適正化を検討すべきではないか。
 - カ 現在の藤山台小学校の場所まで白山町の児童が通学するのは無理では

- ないか。
- キ 適正規模の範囲の中位で、ニュータウン地区全体の学校規模適正化を検討すべきではないか。
 - ク 現在通学する児童の保護者の意見を聴くべきである。
 - ケ 防災や地域のためのスペースの視点からみた学校のあり方も考えるべきではないか。
 - コ 3校を1校にすると、藤山台中学校では、小学校も同じ生徒ばかりになり、新しい出会いがなくなるがよいか。
 - サ 小規模校では、先生が少なく、児童と先生の変えることができないがよいか。
 - シ 早急に対応すべきこととして、藤山台小と藤山台東小を統合する。また、平行して3校を統合するための新しい学校の建設を検討すべきではないか。
 - ス 小中一貫校の検討はできないのか。
- (3) 統合後の学校について
- ア 3校を1校にしたときの新校建設について、藤山公園に建設することはできないか。
 - イ 新しい学校の中に、放課後なかよし教室、地域活動団体のためのスペースなどあらゆる機能を盛り込むことができればよい。
- (4) 学校間の交流について
- ア 3校合わせて学年別の授業を行ったり、交流会を実施してはどうか。

以上